

音楽科1年生がウエサカ祭に参加しました



5月15日、覚王山日泰寺において開催された「ウエサカ祭」に、本校を代表して1年生音楽科の生徒が参加してくれました。

ウエサカ祭は、「国際仏陀の日」として、お釈迦様の誕生・成道・涅槃の三つの聖日をあわせてお祝いする仏教行事です。毎年、県下の仏教関係学園が集い、厳かな雰囲気の中で執り行われています。

第1部「仏舎利奉賛式」では、普段は非公開である仏舎利奉安塔を前に、代表生徒が焼香を行い、参列者とともに四弘誓願

を唱和しました。

続く第2部「ウエサカ讃仰式」では、代表生徒による献花の後、参列者一同でウエサカ讃仰歌を歌いました。本校音楽科の生徒たちも、心を込めた美しい歌声を響かせ、仏前に手を合わせるひとときの尊さを味わうことができました。また、日泰寺代表・村上様による法話を拝聴し、仏教の教えに触れる貴重な機会にも恵まれました。

慌ただしい日常を離れ、静かに自分自身と向き合う中で、いのちの尊さや他者を思いやる心について改めて考える、大変意義深い一日となりました。

宗教主任 久保田 彩

春の法要に参加しました

3月30日から4月1日まで、京都・真宗本廟（東本願寺）で開催された春の法要（親鸞聖人御誕生会・音楽法要など）に、本校音楽科声楽専攻の生徒が参加しました。名古屋音楽大学の学生や全国の門徒合唱団の方々とともに、研修に真摯に取り組み、法要では私の指揮・指導のもと、心を一つにして立派に勤めを果たしました。3日間の学びは、生徒たちにとって大変貴重な経験となりました。

音楽科主任 鍋木 勇樹



私は昨年に続き、音楽法要に参加しました。全国から集まった参加者と2泊3日を共にし、多くの学びと出会いに恵まれた充実した時間でした。

初日の交流会では、オーストリア修学旅行で歌った「平和を祈る歌」を披露しました。その際、鍋木先生から、イラン情勢を含む中東地域情勢の悪化により、私たちの修学旅行の行程が延長を余儀なくされたことが紹介され、多くの方から「大変だったね」「無事に帰れてよかったね」と温かい言葉をいただきました。その心遣いがとてもありがたく、深く心に残りました。

2日目の真宗学習では新たな考え方に触れ、法要前にはご本尊の前で高校生と大学生がともに『親鸞さまはなつかしい』を歌う貴重な機会もいただき、忘れがたい3日間となりました。

312 嶋田 彩心（一宮市立大和中学校出身）

音楽科定期演奏会情報

第28回アンサンブル演奏会

7月17日（金）17:30開場 18:00開演
名古屋音楽大学 めいおんホール

第27回合唱・オーケストラ演奏会

10月2日（金）18:00開場 18:30開演
日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール

第58回卒業演奏会

1月14日（木）18:00開場 18:30開演
電気文化会館 ザ・コンサートホール

いずれも入場無料

詳細が決まり次第、公式サイト等を通じてお知らせします。

Schedule [行事予定]

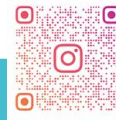
7月	17日 金	音楽科・アンサンブル演奏会
	18～20日 土～月	愛知サマーセミナー
	21日 火	終業式
8月	8日 土	地域懇まどめの会
	22日 土	PTA研修
	25日 火	出校日
9月	1日 火	始業式
	5日 土	3年生学級懇談会
	12日 土	PTA常任委員会 1・2年生学級懇談会
	18～20日 金～日	文化祭（19日・公開日）
10月	28日 月	見真の日
	2日 金	音楽科・合唱オーケストラ演奏会
	13～16日 火～金	2学期中間考査
	27日 火	沖縄修学旅行事前学習 1年生キャリア教育

10月	28日 水	見真の日 2年生進路ガイダンス・キャリア教育
	29日 木	後期クラブ総会
	4日 水	生徒会後期役員選挙立会演説会
11月	11日 水	1年生音楽科・実技試験
	13日 金	2・3年生音楽科・公開実技試験
	20～27日 金～金	2学期期末考査
12月	27日 金	報恩講
	28日 土	学園研鑽日
	5日 土	PTA常任委員会 同朋オープン・フォーラム
	9日 水	沖縄修学旅行 第1回出発（～12日）
12月	10日 木	沖縄修学旅行 第2回出発（～13日）
	11日 金	沖縄修学旅行 第3回出発（～14日）
	19日 土	同朋オープン・フォーラムまどめの会
	21日 月	終業式

同朋高校公式
Webサイト▶



同朋高校公式
Instagram▶



同朋
和敬

7

学校通信

Doho High School Community Press
Vol.242 14 JUL 2026

同朋高等学校 学校通信編集委員会 平野・寺町・遠山・落合

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL 052-411-1159

同朋 和敬

新たな出会いが紡いだ春

Doho High School Community Press

7

Vol.242
学校通信



季節はめぐり、4月。409名の新たな仲間を迎えた。新しい制服に袖を通したあの爽やかな気持ちや、始業式で一堂に会した日の緊張と期待が、もう遠い日のことのように感じられるのは、あなたが成長しているから。久しぶりにクロコくんホールで開催された体育大会では、力強い声援が競技や応援合戦を大いに盛り上げ、歓喜の涙も悔し涙もまた、かけがえのない一人ひとりの歩みを物語っていた。さまざまな思いを胸に、また季節はめぐる。

同朋高等学校長 小堀 能任



学校長式辞 校長 小堀 能任

春のやわらかな雨に包まれた本日の佳き日、多数のご来賓ならびに保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに本年度の入学式を挙行できますことを、大変うれしく存じます。心より御礼申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、これまで温かく見守り、支えてこられたお子様の晴れの姿をご覧になり、感慨もひとしおのことと拝察いたします。本日は誠にありがとうございます。

本校は、保護者の皆様とともに歩みながら教育を築いていく学校です。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ただ今、入学を認定いたしました409名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは今、新しい学校生活への期待と不安の両方を胸に抱いていることでしょう。しかし、どうか焦ることなく、一步一步、自分の歩幅で歩んでください。教職員一同、皆さん一人ひとりに寄り添い、その成長を支えてまいります。

さて、本校は、親鸞聖人の教えを建学の精神とする真宗大谷派の関係学校であり、まもなく創立70周年を迎えます。私たちは、一人ひとりの違いを認め合い、それぞれの個性を大切にす教育を目指しています。

世の中には、さまざまな価値観や考え方があります。好きなことや得意なことが一人ひとり異なるように、生き方やものの見方もまた、人それぞれです。しかし、自分とは異なる存在と出会い、



その違いを認め合うことによって、人は成長し、社会もまた豊かになっていきます。

残念ながら、現代社会には対立や分断が絶えません。だからこそ皆さんには、まず身近な人との関わりの中で、互いを尊重し合える関係を築いてほしいと思います。異なる考えに耳を傾け、ともに歩もうとする姿勢は、親鸞聖人の教えにも通じるものです。

また、もうひとつ皆さんに大切にしてほしいことがあります。それは、「考える」ということです。授業はもちろん、学校行事や部活動、友人との関わり、そして自分自身の将来についても、自ら問いを持ち、考え続けてください。

AI技術の進展に象徴されるように、社会はかつてない速さで変化しています。こうした時代に求められるのは、知識をただ身につける力だけではありません。自ら課題を見だし、周囲と協力しながら解決していく力が必要です。その土台となるのが、「考える」習慣です。

親鸞聖人は、門弟を「弟子」ではなく「同朋」と呼ばれました。「同朋」とは、共に歩む仲間という意味です。互いを対等な存在として認め合い、ともに悩み、ともに支え合いながら成長していく。その精神は、本校の校名にも受け継がれています。

同朋高校での豊かな学びと多くの出会いを通して、皆さんが大きく成長されることを心より願っています。私たち教職員もまた、皆さんとともに歩む「同朋」です。

新入生の皆さんが初心を忘れず、実り多い3年間を過ごされることを心より願い、式辞といたします。



来賓祝辞 PTA会長 日比野 武彦様

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

また、保護者の皆様におかれましては、本日この佳き日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

新入生の皆さんは、それぞれに努力を重ね、自らの力で同朋高校への入学を果たされました。そして今、義務教育を終え、新たな一歩を踏み出そうとしています。今日、この同朋高校の門をくぐり、期待や喜び、不安や緊張など、さまざまな思いを胸に抱いておられることでしょう。

同朋高校は、2028年度に創立70周年を迎える、歴史と伝統ある学校です。そして、「生徒が主人公である学校」を大切にしています。これから始まる高校生活の中で、ぜひ自ら考え、行動し、仲間と協力しながら、多くの経験と思い出を重ねていってください。

また、そうした皆さんを支える教職員の方々、そして保護者同士の温かなつながりも、本校の大きな魅力のひとつです。私自身もPTA活動を通して、その温かさを幾度となく感じてまいりました。私たち保護者もまた、皆さんの成長を支える一員として、ともに歩んでいければと願っております。

現在は、AIがさまざまな役割を担う時代となりました。だからこそ、これからますます大切になるのは、人にしかできない「人の心に寄り添う力」ではないでしょうか。

そのうえで、皆さんに大切にしてほしいことを3つお伝えします。

1つ目は、謙虚な気持ちを忘れないことです。周囲の意見や新しい価値観を素直に受け止める柔軟さは、自らを成長させる力となります。

2つ目は、相手を尊重することです。人それぞれの考え方や生き方を認め合うことによって、信頼関係は築かれていきます。

3つ目は、いのちの大切さを忘れないことです。同朋高校では、「いのち」を大切にする教育を重んじています。皆さん一人ひとりが、かけがえない存在です。これからの高校生活では、楽しいことばかりではなく、悩んだり壁にぶつかったりすることもあるかもしれません。しかし、皆さんの周りには、支え、見守り、助けてくれる人がたくさんいます。どうか一人で抱え込まず、周囲を頼りながら歩んでください。

保護者の皆様、私たちPTAは、「すべては子どもたちのために!」でも、保護者も楽しく!」を合言葉に活動しております。これからの3年間、お子様の成長を共に見守りながら、実りある時間を重ねてまいりましょう。

結びに、新入生の皆さんが仲間とともに実り多い高校生活を築かれることを心より願い、お祝いの言葉といたします。

新 入 生 誓 い の 言 葉



新入生代表 112 田中 音々
常滑市立鬼崎中学校出身

暖かな春の風に誘われ、桜の花びらが鮮やかに目に映る今日の佳き日に、憧れの同朋高等学校の門をくぐり、身の引き締まる思いです。

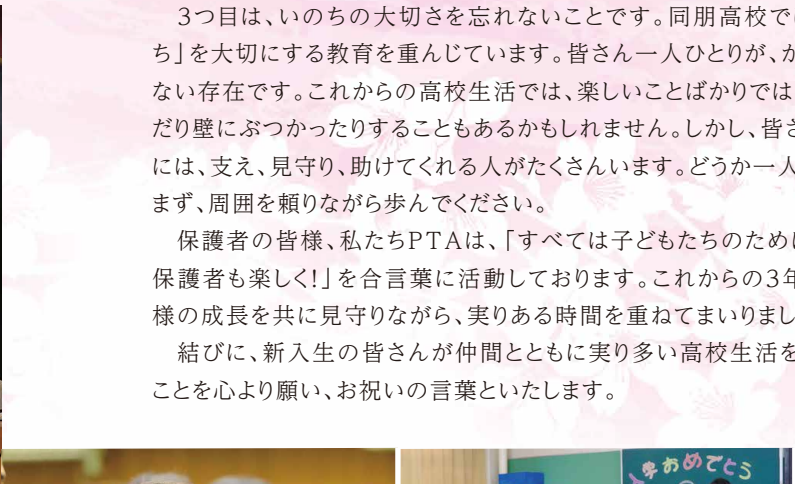
このような素晴らしい入学式を迎えることができましたことに、先生方、先輩方、保護者の皆様へ、心より感謝申し上げます。

義務教育を終え、私たちは自分で選んだ道へと一歩を踏み出しました。高校生活では、より高度な学びや新しい出会いを通して、自分自身の可能性を広げていきたいと考えています。これからの新しい友人との出会い、これまで知らなかった世界への期待に胸を膨らませています。

もちろん、困難にぶつかることもあるかもしれませんが、ここに集まった409名の朋と切磋琢磨し、励まし合いながら、一歩ずつ前に進んでいきます。これからは同じ時間を分かち合う朋として、一人ひとりの音色を重ね、3年後には素晴らしいハーモニーを奏でられるよう精進してまいります。

先生方、先輩方、どうぞ温かく、時には厳しく見守っていただければ幸いです。

以上をもちまして、誓いの言葉とさせていただきます。





校外研修



2年生

校外研修

普通科 リトルワールド

とても充実したリトルワールドでの研修でした。各国の食べ物や民族衣装など、多くの国の文化に触れ、日常では体験できない学びを深めることができました。クラスでのカレー作りでは、野菜の切り方や水の量といった少しの加減で味や食感が変わることを知り、とても面白かったです。完成した時の達成感は大きく、苦勞した分だけ普段より美味しく感じられました。また、調理や片付けを積極的に手伝ってくれるクラスメイトの優しい一面をたくさん知ることができ、仲も深まったと感じました。

208 港川 真由(名古屋市立有松中学校出身)

商業科 名古屋城・IGアリーナ

今回の校外学習で私たちは名古屋城とIGアリーナに行きました。それぞれの場所で、見学するだけでなく働く人にも注目して過ごしました。案内して下さったガイドの方や大学食堂でご飯を作ってくれる方、武将の姿でおもてなしをしている方など、さまざまな方と出会いました。IGアリーナでは特別な演出を見せていただき、その裏側でも多くの方が働いていることを知りました。今回の学習を通じて、見えないところでさまざまな仕事をしている方がいるからこそ社会が成り立っていると改めて感じました。

211 小栗 大和(名古屋市立平田中学校出身)

音楽科 京都堀川音楽高等学校

今年度は特別な機会をいただき、音楽科は京都の堀川音楽高校を訪問し交流会を行いました。僕は代表として、夢を掴もうともが僕たちの姿を重ねた自作曲「渡り鳥」を演奏させていただきました。今回の交流を通して、厳しい試練を乗り越えようと切磋琢磨している仲間が、遠く離れた地にも存在すると実感しました。普段は会えなくても、僕たちは同じ高みを目指す「仲間」です。互いに素晴らしい音楽で世界を彩るよう、これからも進んでいきましょう。堀音高の皆さん、ありがとうございました。

212 板倉 奏多(名古屋市立供米田中学校出身)

1年生

フレッシュマン合宿

今年度から、1年生の合宿は東本願寺での宗教研修として実施しました。2日間という限られた時間ではありましたが、真宗の教えに直接触れることのできる、大変貴重な機会になったことと思います。本や講話を通して学ぶだけでなく、実際にその場を訪れ、お堂の空気や香り、音の響きを肌で感じることに、大きな意味があります。今回の研修で得た体験が、心に残る思い出となり、これからの学びへとつながっていくことを願っています。

学校に戻ってから宗歌や校歌をくちずさんでいた皆さんの姿を、私はきっと忘れないことでしょう。共に良い時間を過ごせたことに、心から感謝しています。

1年生学年主任 楳木 振一郎

今回のフレッシュマン合宿は、普段の学校生活ではなかなかできない体験を通して、仲間との絆を深めることができた2日間でした。初日の雑巾掛けは、静かな空間の中で皆で力を合わせ、広い床を丁寧に磨き上げました。最初は大変でしたが、少しずつ床がきれいになっていく様子を見て、協力して取り組むことの達成感を味わうことができました。2日目のカレー作りでは、班の仲間と役割を分担し、声を掛け合いながら楽しく調理を進めました。少し玉ねぎが固かったのも、今では忘れられない思い出です。

今回の合宿を通して、協力することの大切さや、仲間と過ごす楽しさを改めて実感しました。この経験をこれからの高校生活に活かし、友達とさらに多くの思い出をつくっていきたいです。

108 川村 瑠那(名古屋市立宝神中学校出身)

3年生

上山研修

4月23日、3年生は上山研修として京都・真宗本廟(東本願寺)を訪れました。今年度は、例年1年生が三河・岐阜方面で実施していたフレッシュマン合宿を改め、東本願寺での1泊研修として実施することとなったため、3年生の上山研修参拝式と1年生のフレッシュマン合宿参拝式を合同で執り行う、特別な式典となりました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、御影堂において厳かに参拝式が営まれました。真宗宗歌を心込めて斉唱し、代表生徒への記念品贈呈や本山からの法話をいただくなど、生徒たちは落ち着いた態度で式に臨んでいました。3年に一度の本山研修という貴重な機会を、それぞれが真摯な思いで受け止めていたように感じます。

法話では、現代社会においても世界各地で紛争や戦争が絶えない現実に触れながら、他者を敬い、違いを認め合うことの大切さについてお話いただきました。SNSの普及によって、同じ価値観の中だけで過ごしやすい時代だからこそ、自分とは異なる考え方や立場に向き合い、相手を尊重する姿勢の重要性について、改めて考える機会となりました。

参拝式後は、クラスごとに京都市内を散策しました。午後になっても雨は降り続いていましたが、生徒たちは昼食や買い物などを通して、それぞれ充実した時間を過ごしていたようです。高校生活最後の1年を迎えた3年生にとって、仲間との時間を共有しながら学びを深める、有意義な研修となりました。

3年生学年主任 内田 義博





体育大会

名古屋市南区のNGKスポーツプラザ・クロコくんホールにて、今年度の体育大会を開催しました。昨年度の改装を経て新たな装いとなった会場で、生徒たちは競技や応援に全力で取り組み、熱気あふれる一日となりました。

閉会式では、体育大会実行委員長より「この体育大会を通して、どのようなことに気づきましたか」との問いかけがありました。仲間を導くことの難しさや責任の重さ、言葉が人に与える影響、苦手なことにも挑戦する楽しさ、そして行事が多くの人を支えや心遣いによって成り立っていることなど、それぞれがさまざまな気づきを得たことと思います。

一人ひとりの努力や思いやりが積み重なったからこそ、この日の空気や色、そしてかけがえのない時間が生まれました。仲間のために力を尽くした人、陰で支えてくれた人、そのすべて

のおかげで、本当に素晴らしい体育大会となりました。心より感謝申し上げます。この経験が、これからの学校生活をより前向きに歩んでいく力となることを願っています。

体育大会実行委員会総務 森岡 優介



競技部門
(群団別)

優勝 青 310・209・104
2位 水 307・212・106
3位 灰 309・202・102

競技部門
(クラス別)

優勝 310 青
2位 307 水
3位 309 灰

応援部門

優勝 黄 304・207・107
2位 桜 312・208・109
3位 赤 308・201・105



競技部門優勝群団 青群団 青群団アイシテル♥

人生最後の体育大会を青群団で迎えられたことを、とても幸せに思います。私は唯一の女性群団長だったため、周囲に不安を感じている人もおり、私自身も期待に応えられるか不安を抱えていました。

しかし、初めてみんなの前で挨拶をしたとき、温かい拍手と笑顔で迎えられ、「この群団で勝ちたい」という気持ちが強くなりました。それからは学年を越えて交流を深め、一緒に食事をしたり応援練習をしたりと、絆を深めました。

体育大会当日、「立って応援しよう!」と声を掛けると、多くの仲間が立ち上がり、全力で声援を送ってくれました。その姿から青群団の団結力の強さを感じました。一方で、途中経過は接戦で、最後まで結果のわからない状況に不安でした。

結果発表では、群団別とクラス別の2つの競技部門で優勝と発表されました。表彰台から「青群団大好き!」と叫ぶと、「愛してる!」の大きな声が返ってきました。その瞬間、うれしさと感謝の気持ちで涙があふれました。

仲間を信じ、支えられてつかんだ2冠は、私にとって一生の宝物です。ここまでついてきてくれたみんなに心から感謝しています。青群団の群団長になれて、本当に幸せでした。青群団ありがとう!愛してる!

青群団長310 竹石 紗菜(北名古屋市立訓原中学校出身)



競技部門優勝クラス 310 仲間が教えてくれた「勝ちの価値」

今年の体育大会は、高校生活最後の体育大会でした。運動が好きな私は勝ちにこだわり、選手や群団長にも自ら立候補し、走る種目にはすべて出場しました。

しかし大会直前、私は友人とのトラブルを経験しました。和解はできたものの、クラスメイトからの信頼を失ったのではないかという不安を抱え、自分の存在価値を示すために体育大会で活躍しようと考えていました。そのため休みの期間も走る練習を重ね、準備を続けました。

ところが当日、私は自分の考えが間違っていたことに気づきました。クラスのみんなは、不安を抱える私を自然に受け入れ、全力で応援してくれたのです。響き渡る声援を聞くうちに、「自分のために勝ちたい」という気持ちは、「このクラスで勝ちたい」「みんなの応援に応えたい」という思いへと変わっていききました。

競技では出場者も応援する側も本気になり、クラスがひとつになれたと感じました。そして私たちのクラスは優勝しました。

今回の優勝には大きな価値があります。仲間と心をひとつにして勝ち取った経験は、目に見えない大切な財産になりました。この優勝を、自分自身の成長と仲間との絆の証として、これからも価値あるものにしていきたいと思います。

310 平野 幸也(名古屋市立一柳中学校出身)





応援部門優勝群団 黄群団 結果が大事か、過程が大事か

体育大会前の私は、この問いに答えを出せませんでした。しかし応援合戦を通して、「どちらも大切で、どちらも手に入れられる」と学びました。

私たちは既存の振り付けをまねするのではなく、一から作り上げることに挑戦しました。フロア全体を使った構成や大きく見える動きを考えることは想像以上に難しく、特に3曲目の「We Will Rock You」には苦戦しました。それでも仲間と話し合いを重ね、「これでいい」と妥協せず練習を続けました。また、1・2年生も真剣に取り組み、わからないところを積極的に質問してくれました。

そして迎えた本番。私たちは全力を出し切り、優勝という結果を手にすることができました。結果だけを求めるなら、苦しい練習は遠回りに感じたかもしれません。しかし、その過程があったからこそ、結果には大きな価値が生まれたのだと思います。

体育大会を通して、結果と過程はどちらかを選ぶものではないと感じました。過程を大切にし、努力を積み重ねた先にこそ、本当の意味での結果がある。そのことを教えてくれた応援合戦は、私にとって最高の経験となりました。

黄群団 304 小林 胡々絢 (名古屋市立富田中学校出身)



Challenges & Achievements

～私たちの挑戦と成果～ (2026年3月17日～5月31日)

■柔道部

第23回近江杯高校柔道大会

女子個人 78kg超級 第1位 306 中谷 優心
63kg級 第3位 309 沖本 芽依
52kg級 第3位 205 澤 のどか
男子個人 60kg級 第2位 310 田脇 龍吾

第80回愛知県高等学校総合体育大会 柔道競技 名南支部予選会

女子団体 第1位 ⇒ 県大会出場
306 中谷 優心・309 沖本 芽依・205 澤 のどか・106 石川 京
男子団体 第4位 ⇒ 県大会出場
308 成瀬 拓弥・310 田脇 龍吾・311 小林 勇雄・
205 飯田 幹大・208 大塚 成憲・105 藤野 成

第80回愛知県高等学校総合体育大会 柔道競技

女子78kg超級 優 勝 ⇒ 全国大会出場・東海大会出場
306 中谷 優心
女子70kg級 第3位
111 田中 希沙
女子団体 第2位 ⇒ 東海大会出場
306 中谷 優心・309 沖本 芽依・205 澤 のどか・207 山田 七夢

■陸上競技部

第80回愛知県高等学校総合体育大会 陸上競技 名南支部予選会

男子円盤投 第2位 311 瀬古 基稀 ⇒ 県大会出場
男子ハンマー投 第7位 209 青木 涼真 ⇒ 県大会出場
8種競技 予選通過 311 瀬古 基稀 ⇒ 県大会出場

第80回愛知県高等学校総合体育大会 陸上競技

8種競技 第9位 311 瀬古 基稀
男子円盤投 第13位 311 瀬古 基稀
男子ハンマー投げ 第23位 209 青木 涼真

■サッカー部

第80回愛知県高等学校総合体育大会サッカー競技 名南支部予選

優 勝 ⇒ 県大会出場

第80回愛知県高等学校総合体育大会サッカー競技 ベスト8

■女子蹴球部

NICOカップ(U-18女子サッカーリーグ2025愛知)

1部リーグ 準優勝

■ラグビー部

第80回愛知県高等学校総合体育大会

ラグビーフットボール競技 名南知多支部予選会
優 勝 ⇒ 県大会出場

第80回愛知県高等学校総合体育大会

ラグビーフットボール競技
ベスト8

令和8年度 第13回全国高校7人制ラグビー大会

名南知多支部予選

優 勝 ⇒ 県大会出場

■バドミントン部

第80回愛知県高等学校総合体育大会バドミントン競技

名南・知多予選

女子ダブルスベスト16 ⇒ 県大会出場
308 水野 薫子・201 滝 美沙緒

■美術部

第70回ウエサカ祭協賛作品展 絵画の部

金賞 205 金田 蒼生

銀賞 204 鈴木 るな

銅賞 205 山田 こさゆ・206 松村 庵寿

■書道部

第70回ウエサカ祭協賛作品展 書道の部

金賞 306 齊藤 来羽

銀賞 308 川浦 日菜

銅賞 311 杉原 菜摘

佳作 302 伊藤 陽香・205 井上 和花

培われる「チカラ」

支えを力に、成長できる選手へ

私はバスケットボール部の活動を頑張っています。入部当初からチームのみんなが本当に優しく、バスケット以外の場面でも周りをよく見て行動し、いろいろな人に挨拶をしている姿に、たくさんの尊敬とよい影響を受けています。中学生の頃よりもレベルが上がった新しい環境で、周りについていくために朝練に早く行ったり、自分に足りない部分を改善できるよう練習したりしています。最初は周りとの差を感じ、自分のプレーに自信をなくすこともありましたが、家族の支えやチームメイトの頑張る姿を見て、私ももっと頑張ろうと思えるようになりました。これからも礼儀を大切にし、バスケットだけでなく人としても成長していきたいです。

107 若山 果颯 (名古屋市立供米田中学校出身)



高校生活で頑張りたいこと

私は高校生活で、部活動や勉強などいろいろなことを頑張りたいです。部活動は演劇部と合唱部を兼部しています。演劇では、人の心を動かせるような演技がもっとできるようになりたいです。また、合唱は、中学の部活が数か月休部となり、中3でコンクールに出られなかったことが心残りでも、もう一度頑張りたいと思い入部しました。毎日忙しいですが、コンクールに向けた練習も始まり、とても充実しています。勉強面では、授業や提出物、テストを大切にし、特に商業科目の資格をたくさん取りたいので、検定合格を目指して頑張ります。行事にも積極的に参加し、部活も授業もクラスのことも、全部大切にしていきたいです。

111 春木 柚香 (名古屋市立神の倉中学校出身)



学びの現場

クラスを越えて「商業科はひとつ」の思いのもと、 少人数で学ぶ商業科の授業「課題研究」

商業科では、これまで行ってきた2年生の課題研究をさらに発展させ、2016年度から【簿記会計系列】【高度情報系列】【ビジネス系列】【デザイン系列】の4つの系列による学びへと進化させてきました。生徒たちは1年次に将来を見据えながら自らの進路と結び付け、2年次からの「学び」を選択しています。また、2年生での課題研究を土台とし、3年生ではさらに深い学びへとつなげています。

多くの学校が「商業科」を「総合学科」へ改編・転換したり、「総合ビジネス科」などへ名称変更したりする中、同朋高校では「商業科」としての学びを大切に守り続けています。さらに、2021年度からは課題研究に「探究」の要素も取り入れ、より一層の進化を遂げています。

取材のために授業を見学した際にも、それぞれの系列で学ぶ生徒たちが、担当教員の指導のもと、集中して課題に取り組んでいました。名古屋造形大学でも指導されている先生による【デザイン系列】の授業から、電卓を手元に置きながら高度な財務会計に取り組む【簿記会計系列】の授業まで、学びのスタイルも実にさまざまです。

以下は、4月から【簿記会計系列】での学びを始めた2年生の感想です。

1年生の簿記の授業と比べて、学ぶ範囲がブワッと一気に広がり、大変だと感じています。ただ、大変さがあるからこそ、自分から学ぼうという気持ちも強くなりました。彦田先生の説明はとてもわかりやすく、疑問に思ったところも理解できるまで教えていただけるので、楽しく授業を受けることができています。

211 北川 陽葵 (名古屋市立左京山中学校出身)



新任教員紹介



国語科

本郷 文幸 先生

今年度4月より赴任いたしました。担当は国語で、入試広報部に所属しております。生徒の皆さんの爽やかな挨拶に、日々元気をいただいています。私自身も一歩ずつ学びを深めながら、皆さんと切磋琢磨し、共に成長していきたいと思えます。活気ある同朋高校の一員として、精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



生徒会役員紹介



- 会長** 202 齋藤 市
(清須市立新川中学校出身)
- 副会長** 202 棚田 結衣
(春日井市立松原中学校出身)
- 副会長** 204 服部 友士
(名古屋市立供米田中学校出身)
- 執行委員** 202 福崎 莉央
(名古屋市立黄金中学校出身)
- 執行委員** 209 三輪 晏愛
(あま市立基目寺中学校出身)
- 執行委員** 108 小林 花音
(名古屋市立昭和橋中学校出身)

PTAだより

同朋高等学校保護者と教職員の会 (通称：PTA) は、
すべての保護者と教職員が会員です。

PTA会長挨拶

同朋高等学校保護者と教職員の会 会長 山田 庸介



本年度、PTA会長を務めさせていただくことになりました山田でございます。このたび会長という大役を仰せつかり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。

私がPTAに関わるきっかけとなったのは、以前参加した学年懇親会でした。先生方や保護者の皆様とゆっくり語り合う中で、多くの気づきと温かなつながりをいただき、同朋高校PTAの意義と魅力を強く感じたことを覚えております。

学校と家庭が手を携え、子どもたちの成長を支えていくうえで、PTAの果たす役割は大変大きいものと考えております。また、前PTA会長が折に触れて話しておられた「すべては子どもたちのために! でも保護者も楽しく!」という言葉は、同朋高校PTAの温かな精神を表すものとして、今も心に深く残っております。

その思いを大切に受け継ぎ、保護者同士が安心してつながり、学校を支える力となるよう、役員一同力を合わせて努めてまいります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶いたします。

PTA役員紹介

5月9日に開催したPTA総会にて、今年度PTA役員が承認されました。



- 会長** 山田 庸介
- 副会長** 川浦 幸子
- 副会長** 新井 さくら
- 副会長** 横井 靖子
- 副会長** 丹羽 健一郎
- 会計** 長田 美紀
- 会計監査** 中村 洋貴
- 会計監査** 内能美 園
- 事業委員長** 伊藤 司美
- 文化委員長** 島村 真理子
- 生活指導委員長** 伊藤 篤子
- 地域懇委員長** 日比野 由美

地域懇談会にご参加いただき、ありがとうございます

今年度も、生徒の居住地域を23地区に分け、第49回地域懇談会を開催することができました。ご参加くださいました保護者の皆様に、心より御礼申し上げます。

地域懇談会は、各地域の保護者と地域担当教員が企画・運営を行い、毎年、温かな雰囲気の中で実施されています。保護者と教員、そして学校をつなぐ大切な場として、互いに学び合いながら率直に語り合う貴重な時間となりました。また、保護者同士の新たなつながりを育み、交流を深める機会にもなったことと思います。

懇談会で出された学校へのご意見やご要望につきましては、8月8日に予定されている「地域懇まための会」など

で内容を整理し、保護者からの声として学校へ届け、今後の学校運営や教育活動に生かしていただけるよう検討をお願いしてまいります。あわせて、それらについての学校からのご回答は、「同朋オープン・フォーラム」などを通してご報告いただく予定です。

今後も、生徒・保護者・教職員がともによりよい学校づくりを進めていくため、PTA活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

地域懇委員長 日比野 由美
担当教員 日比 伸子